

藤川工務店

リフォーム事例紹介

今回はお客様のお悩みからご希望を聞き、ご自宅兼美容室のお宅をリフォームした川村様のお宅です！皆さんもご自宅のお悩み、ありませんか？

設計担当者にインタビュー

かわい ようじ
建設部 本部長 **川井 陽二さん**

物件名 **川村様邸** 完成時期 **2022年9月**

施工内容 **ご自宅兼美容室のリフォーム**
(屋根や外壁、ベランダを含めた生活スペース全般と美容室のトイレをリフォーム)

Point2 ネズミ対策

お客様がネズミの被害に悩んでいらっしゃるというお話もいただきました。ネズミの侵入を防ぐためには、とにかく入口をなくすことが重要なポイントです。そのため、今回は下地も含め外壁を全面的にリフォームし、ネズミが侵入できる隙間をなくすように工夫をしました。

Point3 美容室のトイレを水洗化

1階部分に設置されていた、美容院と自宅のトイレを水洗にしたいというオーダーもいただいていた。こちらはもともとの空間のなかで、壁紙を汚れのつきにくいビニール製の素材にするなどして、使いやすい水洗トイレにリフォームしました。

お客様からのリフォームオーダー 3つのポイント

Point1 日当たりが良い空間に

これまで1階部分にあった居住スペースの日当たりがあまり良くなかったため、居住スペースを思い切って2階へ移動することをご提案しました。さらに、家の中心となるリビングがバルコニーと一体化するような間取りを採用し、バルコニーには目隠しになる大きなルーバーを設置しました。こうすることで、実際の屋内スペースが外から見えずらくなりプライベート空間が守られ、採光もできる明るいリビングが実現しました。



リビング

外観



バルコニー



リフォームのこだわり

動線を考えた扉の設置

もともと住居部分の階段が、途中で折れ曲がるような複雑な形でついていました。今回のリフォームで、その階段の踊場に近い場所にキッチンを設置することになったので、踊場にちょっとした扉を作ることをご提案しました。買い物の荷物をちょっと置いて受け渡すこともでき、便利に利用していただけるのではないかと考えたのです。階段の構造上、キッチンへは階段をぐるりと回って移動するようになっているため、荷物だけでもショートカットできるとラクですね。ゴミ出しの時も便利だと思います。日常生活の中で、少しでもお客様の負担が軽減できれば嬉しく思います。



階段側の扉



キッチン側の扉



美容室のトイレ

リフォームで大切にしていること

「自分の家だったらどうするのか」を考える

リフォームでは、今の家で不満なところ、希望を聞き出しながら「自分の家だったらどうするのか」と考え、提案させていただいています。後々維持に無駄な出費を出さないよう考えます。リフォームによってお客様に新しい暮らしを楽しんでいただければ嬉しく思います。

お客様の生の声を直撃

かわ むら

川村 まや 様



依頼の際には私から担当の川井さんに解決したい問題をお伝えし、あとはお任せしました。お米を育てる農家に囲まれた土地柄、屋根裏にネズミが住み着き、長く悩まされていました。また、経年劣化が激しかった木製ベランダや瓦屋根のリフォームも行っていただきました。細かな点など多くはお任せにしましたが、その結果、想像以上にきれいな自宅兼美容室に生まれ変わり、大変満足しています。

★ 藤川工務店に依頼して良かったこと

機能性だけではなく細かなデザインにも配慮しながら仕上げてくださり、リフォームが完了した際には私の想像を超えるすてきな仕上がりでした。また、「今あるもので使えるものは使いたい」という私の希望にも応えてくださり、扉など、リフォーム後とサイズがあわないようならサイズ調整もしてくださいました。きめ細やかな配慮に感謝しています。



木工教室

日時：5月7日（日）

木工体験 イベントを開催しました！

5月7日（日）に木工教室を行いました。
幼稚園と小学校に通うお子様、それぞれで本棚と椅子を製作しました！

お 子様とご両親それぞれがペアになり、
二手に分かれて製作！金槌やのこぎり、
インパクトドライバーなど初めて手にした工
具もあり、緊張感がありましたが、最後には
上手に安全に使うことができていました！



今 回、軽いハンマーと大工職人が
使う槌の2種類を用意しました
が、初めはハンマーを使っていた幼稚園
のお子様も、自主的に興味を持ち、
槌に変えて打ち心地の違いを実感して
いた姿が印象的でした。



大工槌



ハンマー



モ デルハウスもご
覧いただきました。
ライトアップで立
体感を得られるレイ
アウトやお子様も足に
やさしい杉床のすべす
べとしたやわらかな感
触を体験いただきました。

Good!

家 に帰ったあと、早速椅子に
座ったり、本棚におもちゃを
飾ったりしていると、ご家族からご
連絡をいただきました。楽しんで製
作し、実際に使っていただけでい
るようで嬉しい限りです！



藤川工務店では、親子向けに定期的なイベントを開催しております。
詳しくは【いこーよ】、または弊社HPをご覧ください。

担当：藤川工務店 不動産営業本部 和田

環境保全活動に

当社事業のブラッシュアップ、そして自然環境への配慮。その2つを実現すべく、新たに誕生した部署をご紹介します！施設の環境管理だけではなく、お客様にも大いに喜んでいただけるサービスを行っているとのこと。お客様の笑顔を目の当たりにした真辺さんにお話を伺いました！

密着！



建設部 環境保全班

ま なべ まさ あき
真辺 政明

メークイーンの花



男爵



環境保全活動の概要

美しい建物の実現と社会への貢献

環境保全班は、2022年秋に新しく立ち上がった部署です。会社としてSDGsに取り組むことを目的としており、社長から設立および責任者就任のお話があったことで、私が担当することになりました。

主な業務内容は、不動産物件やモデルハウス・会社まわりの環境整備です。草刈りや清掃を行い、建物の美観維持に努めています。また、部署の立ち上げと同時に、新たに土地を購入。畑として活用するための維持管理も兼務しています。

畑を運用することになった背景

何もない土地に新たな生命が誕生

これもSDGsの一環ですが、「整備した畑でお客様向けのイベントを行いたい」という意見が挙がり実現しました。購入した土地は、『クラインガルテン』という農作業体験ができる宿泊施設の付近にあった水田の跡地です。当初は地面が荒れ放題になっていたもので、草を刈って整え、まずはジャガイモを植えました。



草刈り

ジャガイモ収穫祭を開催！

採れて嬉しい！食べて美味しい！

2022年12月第1週の日曜日にはじめて植えたジャガイモの収穫祭を開催しました。当日はお客様に当社のモデルハウスに集合していただき、当社スタッフがアテンドする形で畑まで移動。大変うれしいことに、10組20名以上のお客様にご参加いただきました。

現地に到着次第、早速収穫を開始。皆様とても楽しそうにジャガイモの収穫に取り組んでくださいました。しかし、このイベントは、収穫するだけではありません。採れたての新鮮なジャガイモをBBQ形式で焼き、そのまま召し上がっていただくというスタイルで皆さんで実食！皆さんで美味しく食べながら、沢山収穫したジャガイモはトラックに乗せて持ち帰り、皆様に分配させていただきました。



ジャガイモ収穫の様子

今後開催予定のイベント

野菜とともに様々な計画を育成中!

現在は、小麦やとうもろこし、かぼちゃを植えている状況なので、野菜にまつわるイベントを順次開催する予定です。

直近で言うと、6月に第2回ジャガイモ収穫祭と小麦の刈り取りイベントを実施します。小麦の刈り取りは、天日干し工程まで体験いただき、8月にその小麦を使用したピザを振る舞うイベントを考えております!その際、とうもろこしの収穫体験も合わせて計画中です。夏休みということもあり、イベント内容もボリュームアップ!ぜひお子様連れでご参加ください!

また、現在スクスク成長中のかぼちゃは9月末頃に収穫し、10月のハロウィンイベントで皆様と一緒に楽しいランタン製作を行いたいと考えています!ただ、かぼちゃは初めての栽培なので、育ち具合が少し心配……。ランタンとして使用できるように、大きく育ててほしいと祈るばかりです。



かぼちゃの植え付け



かぼちゃの芽



小麦にかわいいんとう虫が!



小麦

今後の活動への意気込み

お客様に楽しく、
快適な時間を過ごしていただくために

各施設の整備にさらに力を入れていきたいと考えています。特に夏場は雑草の伸びが早くなる季節。すでにお客様がお住まいのお宅も、安全に安心して生活ができるよう、対応していきたいと思えます。

また、お客様がいつお越しになっても、歩きやすく、見学しやすいような環境を整えておくことが私の使命。今後も美しい景観を維持するために、引き続き尽力いたします。そして、イベントにもぜひ足を運んでください!スタッフ一同、皆様のご参加をお待ちしております!



ジャガイモ畑

ジャガイモ収穫祭



知って得する!

耐震改修の補助制度!

地震の危険と常に隣り合わせの国である日本。その国民であるからこそ、私たちはいざという瞬間に命を守る行動が必要不可欠です。今回は、高知県が推進する耐震改修についてご紹介します! 診断から工事までサポートし、皆さんが安心して毎日を過ごせるようなサービスがご利用可能です。

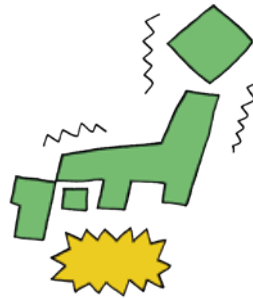
耐震改修について

○なぜ必要?

1995年に発生した阪神・淡路大震災では、神戸市内で3875人が亡くなりましたが、そのうち詳細な分析が行われた3651人の95%以上が、建物の崩壊により亡くなっています。建築年別の被害状況では、昭和56年以上前に建築された旧耐震基準の建物に、多くの被害が発生しました。また、2013年に行われた住宅・土地統計調査によると、高知県内には旧耐震基準で建てられた住宅が約8万1千戸あることが明らかになっています。そうすると、万が一大きな地震が起きた際、がれきの中から自力で脱出することができなくなる恐れがあり、地震による津波や火災から命を守ることが難しくなります。

南海地震の恐れ

南海地震は、震度5強～7程度の強い揺れが100秒ほど続くと言われていています。震度6弱の揺れになると、人は立っていることが困難になり、揺れが収まるまで建物の外に出ることができません。一方、耐震性の低い建物は、震度6弱～6強になると多くが崩壊します。次の地震から命を守るためには、地震の揺れが収まるまで倒壊しない建物に住むことが必要です。



高知県による 耐震化の 支援 とは?

高知県では、市町村と協力して1981年5月以前に建築された住宅を対象に、耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事の支援をしています。



次号で、高知市・南国市・嶺北地域で受けられる制度、補助金について、詳しくご紹介します!

